

平成21年8月期 第1四半期決算短信

平成21年1月9日

上場会社名 株式会社 カワサキ
 コード番号 3045 URL <http://www.kawasaki-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大下 実
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月13日

上場取引所 大

TEL 072-439-8011

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第1四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成20年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第1四半期	745	—	69	—	△718	—	△216	—
20年8月期第1四半期	671	0.9	93	△23.6	39	△76.0	17	△94.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第1四半期	△164.67	—
20年8月期第1四半期	12.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年8月期第1四半期	7,330	—	3,544	48.4	—	—	2,698.30	—
20年8月期	7,833	—	3,792	48.4	—	—	2,886.77	—

(参考) 自己資本 21年8月期第1四半期 3,544百万円 20年8月期 3,792百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	22.50	—	22.50	45.00
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	11.25	—	11.25	22.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	1,425	7.4	74	△52.6	△729	—	△235	—	△178.87
通期	2,848	△2.7	107	△54.4	△728	—	△243	—	△184.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 [(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年8月期第1四半期 1,450,500株 20年8月期 1,450,500株
 ② 期末自己株式数 21年8月期第1四半期 136,724株 20年8月期 136,724株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年8月期第1四半期 1,313,776株 20年8月期第1四半期 1,391,400株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成20年9月1日～平成20年11月30日）におけるわが国経済は、世界的な金融危機による、株安、雇用不安等から消費マインドは著しく低下いたしました。

このような情勢下、当社グループの服飾事業では前連結会計年度に引き続き、直営店の新規出店展開と百貨店の新規取引の開拓に注力し業績の拡大を図っております。新規直営店は、平成20年11月に「西宮店（兵庫県）」、12月に「京都北山店（京都府）」を開店いたしました。

賃貸・倉庫事業におきましては、平成20年11月に大阪府和泉市テクノステージの賃貸土地を売却、12月に大阪府泉北郡忠岡町忠岡南の賃貸倉庫を取得し、当事業の強化を図っております。

これらの結果により、当第1四半期連結会計期間の連結業績は売上高745,366千円、経常損失718,488千円となりました。この主な要因は、営業外費用に「包括的長期為替予約」の評価損等を為替差損として782,246千円計上したことによるものであります。また特別利益に固定資産売却益357,672千円を計上しましたので、税金等調整前四半期純損失は360,815千円となりました。以上の結果、四半期純損失は216,344千円となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(1) 服飾事業

当事業部門におきましては、前連結会計年度に引き続き直営店展開と新規取引百貨店の開拓を進めました。売上高は621,788千円、営業利益は35,468千円となりました。

(2) 賃貸・倉庫事業

当事業部門におきましては、売上高は123,341千円、営業利益は50,769千円となりました。

(3) 不動産仲介業

当事業部門におきましては、セグメント間の内部取引での売上高が38,530千円、営業利益は21,684千円となりました。

(4) その他の事業

当事業部門におきましては、売上高は236千円、営業利益は133千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況について

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて193,146千円(11.9%)増加し、1,822,526千円となりました。この主な要因は、原材料及び貯蔵品が28,884千円減少したものの、受取手形及び売掛金が39,284千円、商品及び製品が149,247千円増加したことによるものであります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて696,466千円(11.2%)減少し、5,507,887千円となりました。この主な要因は、建設仮勘定が65,954千円増加したものの、建物及び構築物が26,262千円、土地が836,848千円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて196,546千円(6.6%)減少し、2,773,515千円となりました。この主な要因は、通貨スワップ契約等が770,565千円増加したものの、買掛金が17,049千円、短期借入金が840,000千円、未払法人税等が135,681千円減少したことによるものであります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて59,162千円(5.5%)減少し、1,011,940千円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少61,260千円等によるものであります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて247,610千円(6.5%)減少し、3,544,959千円となりました。この主な要因は、配当金の支払29,559千円、四半期純損失216,344千円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況について

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローに係る支出が161,092千円、投資活動によるキャッシュ・フローに係る収入が1,116,460千円、財務活動によるキャッシュ・フローに係る支出が938,409千円となったこと等により、前連結会計年度に比べて6,372千円増加し、323,916千円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

通貨スワップ契約等が770,565千円増加したものの、税金等調整前四半期純損失360,815千円、固定資産売却益357,672千円、法人税等の支払額129,713千円、たな卸資産の増加120,362千円等により営業活動によるキャッシュ・フローは161,092千円の支出となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が73,035千円ありましたが、有形固定資産の売却による収入が1,195,596千円あり、当第1四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは1,116,460千円の収入となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済908,850千円及び配当金の支払29,559千円があり、当第1四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは938,409千円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の予想につきましては、平成20年12月22日に第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を変更しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益が9,692千円減少し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が9,692千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	323,916	317,543
受取手形及び売掛金	305,099	265,815
商品及び製品	922,951	773,704
原材料及び貯蔵品	141,284	170,169
その他	130,321	103,579
貸倒引当金	△1,047	△1,431
流動資産合計	1,822,526	1,629,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,997,536	2,023,799
土地	3,003,906	3,840,754
建設仮勘定	66,666	712
その他(純額)	45,120	48,526
有形固定資産合計	5,113,229	5,913,793
無形固定資産	12,796	11,432
投資その他の資産		
その他	388,046	299,954
貸倒引当金	△6,185	△20,826
投資その他の資産合計	381,861	279,127
固定資産合計	5,507,887	6,204,354
資産合計	7,330,414	7,833,735

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,069	49,118
短期借入金	1,450,000	2,290,000
未払法人税等	4,608	140,289
賞与引当金	22,486	11,760
通貨スワップ契約等	770,565	—
その他	493,785	478,892
流動負債合計	2,773,515	2,970,061
固定負債		
長期借入金	645,130	706,390
役員退職慰労引当金	161,267	159,417
負ののれん	67,200	71,153
その他	138,343	134,143
固定負債合計	1,011,940	1,071,103
負債合計	3,785,455	4,041,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	468,338	468,338
利益剰余金	2,710,128	2,956,033
自己株式	△194,218	△194,218
株主資本合計	3,548,548	3,794,453
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,589	△1,883
評価・換算差額等合計	△3,589	△1,883
純資産合計	3,544,959	3,792,569
負債純資産合計	7,330,414	7,833,735

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)
売上高	745,366
売上原価	360,014
売上総利益	385,352
販売費及び一般管理費	316,103
営業利益	69,249
営業外収益	
受取利息	4
負ののれん償却額	3,952
その他	900
営業外収益合計	4,858
営業外費用	
支払利息	10,289
為替差損	782,246
その他	59
営業外費用合計	792,596
経常損失(△)	△718,488
特別利益	
固定資産売却益	357,672
特別利益合計	357,672
税金等調整前四半期純損失(△)	△360,815
法人税、住民税及び事業税	630
法人税等調整額	△145,101
法人税等合計	△144,471
四半期純損失(△)	△216,344

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△360,815
減価償却費	36,198
負ののれん償却額	△3,952
支払利息	10,289
為替差損益(△は益)	10,585
固定資産売却損益(△は益)	△357,672
売上債権の増減額(△は増加)	△39,284
たな卸資産の増減額(△は増加)	△120,362
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,049
通貨スワップ契約等の増減額(△は減少)	770,565
その他	51,023
小計	△20,476
利息及び配当金の受取額	4
利息の支払額	△10,906
法人税等の支払額	△129,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	△161,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△73,035
有形固定資産の売却による収入	1,195,596
その他	△6,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,116,460
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△840,000
長期借入金の返済による支出	△68,850
配当金の支払額	△29,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△938,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,585
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,372
現金及び現金同等物の期首残高	317,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	323,916

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)

	服飾事業 (千円)	賃貸・倉庫 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	621,788	123,341	—	236	745,366	—	745,366
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,886	38,530	—	41,416	(41,416)	—
計	621,788	126,228	38,530	236	786,783	(41,416)	745,366
営業利益	35,468	50,769	21,684	133	108,055	(38,806)	69,249

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シェニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウェア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業
- (4) その他の事業……………保険代理業

2. 会計方針の変更

(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、服飾事業の営業利益が9,692千円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)において、海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年9月1日至平成19年11月30日)

科 目	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)	
	金額(千円)	構成比 (%)
I 売上高	671,057	100.0
II 売上原価	322,156	48.0
売上総利益	348,900	52.0
III 販売費及び一般管理費	255,508	38.1
営業利益	93,392	13.9
IV 営業外収益		
1. 受取利息及び受取配当金	0	
2. その他	4,049	
営業外収益合計	4,050	0.6
V 営業外費用		
1. 支払利息	8,836	
2. 為替差損	48,633	
3. その他	210	
営業外費用合計	57,680	8.6
経常利益	39,762	5.9
税金等調整前 四半期純利益	39,762	5.9
税金費用	22,211	3.3
四半期純利益	17,550	2.6

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年9月1日至平成19年11月30日)

	前年同四半期 (平成20年8月期第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	39,762
減価償却費	27,173
支払利息	8,836
為替差損益	△9,073
売上債権の増減額(△は増加)	△87,503
たな卸資産の増減額(△は増加)	△108,418
仕入債務の増減額(△は減少)	47,471
その他	92,948
小計	11,196
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△10,067
法人税等の支払額	△254,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	△253,149
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△761
その他	210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△551
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	400,000
長期借入金の返済による支出	△64,790
自己株式の取得による支出	△42,600
配当金の支払額	△63,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,097
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	9,073
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,529
VI 現金及び現金同等物の期首残高	218,330
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	202,801